

工学研究科 建築学専攻授業科目表（修士課程）

【専門科目・修了所要単位数:28単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
専 門 分 野			
【選択12単位】			
建築計画学			
建築意匠特論	2		
建築計画特論	2		
建築設計特論	2		
建築史特論	2		
建築構法計画特論	2		
都市計画特論	2		
建築学特別講義A	2		
建築デザイン特論	2		
建築設計A(演習)	3		
建築設計B(演習)	3		
建築環境学			
空調設備特論	2		
建築環境特論B	2		
建築環境特論C	2		
建築環境特論D	2		
建築環境特論E	2		
建築学特別講義C	2		
建築設備計算演習	3		
建築構造学			
建築構造力学特論	2		
建築振動特論	2		
建築構造技術特論	2		
建築材料特論B	2		
建築耐火設計特論	2		
建築学特別講義B	2		
建築構造設計及び解析(演習)	3		
建築数理学			
建築数理学特論	2		
非線形解析特論	2		
【共通(必修16単位)】			
修士研究1	4		
修士研究2	4		
修士研究3		4	
修士研究4		4	

【修了所要単位に含まない科目】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
【選 択】			
建築意匠インターンシップ研修1a	2		
建築意匠インターンシップ研修1b	2		
建築意匠インターンシップ研修2a	2		
建築意匠インターンシップ研修2b	2		
建築設備インターンシップ研修1a	2		
建築設備インターンシップ研修1b	2		
建築設備インターンシップ研修2a	2		
建築設備インターンシップ研修2b	2		
建築構造インターンシップ研修1a	2		
建築構造インターンシップ研修1b	2		
建築構造インターンシップ研修2a	2		
建築構造インターンシップ研修2b	2		

【一般教養科目・修了所要単位数:2単位】

授 業 科 目 名	標準履修学年 および単位		備考
	1年	2年	
選 択 必 修 科 目 (2単位)			
教 養 (共 通)			
自然を学ぶ科目群			
生物科学特論	2		
現代物理学特論	2		
物理学から見る理学の世界1	1		
物理学から見る理学の世界2	1		
物理学から見る理学の最前線1	1		
物理学から見る理学の最前線2	1		
物理学から見る理学の未来1	1		
物理学から見る理学の未来2	1		
人間と社会を学ぶ科目群			
人文学系			
倫理学対話	2		
現代東アジア特論	2		
応用言語学特論	2		
英語圏文学・文化演習	2		
表現文化特論	2		
総合芸術学演習	2		
社会科学系			
国際政治特論	2		
社会病理特論	2		
ダイバーシティ社会論演習	2		
キャリア形成を学ぶ科目群			
知的財産系			
知財戦略特論	2		
知的財産特論	2		
キャリアデザイン系			
イノベーション・チーム・ラボ	2		
キャリアデザイン考究	2		
実践的リーダーシップを学ぶ	2		
外国語を学ぶ科目群			
英語系			
Basic Discussion and Presentation 1	2		
Basic Discussion and Presentation 2	2		
Discussion and Presentation 1	2		
Discussion and Presentation 2	2		
技術英語表現法概論	2		
技術英語表現法演習	2		
学術英語演習	2		
領域を超えて学ぶ科目群			
科学技術社会論系			
科学技術研究の倫理	2		
科学技術社会特論	2		
医療倫理	2		
情報学・環境学系			
計算機設計特論	2		
プロセッサアーキテクチャ特論	2		
ゼミ・特別講義系			
ウォーターサイエンス特論	2		
Materials Science and Technology OverviewA:Metals	2		
Materials Science and Technology OverviewB:Inorganic Materials	2		
Materials Science and Technology OverviewC:Polymer Materials	2		
Materials Science and Technology OverviewD:Composite Materials	2		

【履修方法】

- ①専門分野の必修科目16単位及び一般教養科目2単位を含め30単位以上を修得すること。
- ②一般教養科目は教養(共通)から2単位以上修得すること。
- ③修了所要単位に含めることができる一般教養科目の単位数の上限は2単位とする。
- ④「修士研究1～4」は、科目名の1～4の順番どおりに履修し修得しなければならない。ただし、本学の博士後期課程に進学を希望する学生で、東京理科大学大学院学則第10条但し書きに規定する在学期間の短縮に該当する、特に優れた研究業績を上げることが見込まれると研究科長が認めた場合は、この限りではない。
- ⑤「建築意匠インターンシップ 研修1a・1b」、「建築意匠インターンシップ 研修2a・2b」、「建築設備インターンシップ 研修1a・1b」、「建築設備インターンシップ 研修2a・2b」、「建築構造インターンシップ 研修1a・1b」及び「建築構造インターンシップ 研修2a・2b」の単位は、修了所要単位に含めない。
- ⑥所属する専攻の設置する授業科目以外に、研究科の定めるところにより、次に掲げる授業科目を履修することができる。
 - (1) 所属専攻以外の専攻課程による授業科目
 - (2) 他の研究科の授業科目
 - (3) 他大学の大学院の授業科目
 - (4) 学部の授業科目
- ⑦ ⑥(1)から(3)の授業科目において履修した単位は、修士課程の単位として8単位まで認定できる。
- ⑧授業科目は年度により開講しない場合がある。
- ⑨建築士試験の大学院実務経歴に関連する科目の履修方法の詳細は、別途「履修の手引」で指示する。